

大学の教育目的

本学の教育の目標は、実業界などで活躍する人材を育成することです。同時に、広い視野を持った基礎的専門知識を有する人材を育成し、豊かな人間性と道徳性、一般教養を備え、専門知識を有し、社会で有為な活動を行うことのできる人材を養成することが教育目標です。

この教育目標を達成するために、実学を礎に、時代のニーズに対応した柔軟なカリキュラムを用意し、社会の変化に柔軟に対応できる幅広い視野を身につけ、社会のあらゆるフィールドで活躍できる人材を育成することを目指しています。本学は、学生の自主性を尊重しています。学生が自分の将来の目標にあわせて自由に科目を選択できるように配慮しています。

本学の建学の精神である「個性の伸展による人生練磨」に基づき、全学生に提供する共通の「基礎科目」と各学科に設置する「専門科目」の二つを大きな柱とし、それぞれの学科の教育目標にあわせたカリキュラムを編成します。また、正課外教育においても、充実した各種教育プログラムを展開し、全教職員で学生の人的成長を支援し、即戦力となりうる社会人の育成を実現します。

日本経済大学ディプロマポリシー

「経済学部及び経営学部共通」

建学の精神に則り、教育課程の中から指定された単位を含め124単位以上を修得し、知識、社会適応力、総合的な学習経験を獲得し、即戦力である実学を身につけた者に対し、経済学部経済学科・商学科及び経営法学科の者にあつては学士（経済学）の学位を、同学部健康スポーツ経営学科の者にあつては学士（健康スポーツ経営学）の学位を、経営学部経営学科の者にあつては学士（経営学）の学位を与え、学位記を授与する。

日本経済大学カリキュラムポリシー

「経済学部」

経済学部では、「個性の伸展による人生練磨」という建学の精神に基づいて、経済学・商学・経営法学・健康スポーツ経営学の各分野に係わる専門の学芸を教授し、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培うとともに、豊かな人間性を涵養し、柔軟性のある人材を育成することを目的に、全学科に共通の「基礎科目」と各学科に設置する「専門科目」の二つを教育課程編成方針の大きな柱とし、それぞれの学科の教育目標に応じたカリキュラムを編成する。

「基礎科目」については、豊かな人間性を育む人文科学系、社会科学系、自然科学系、保健体育系及び国際的なコミュニケーション能力を高める語学系の5分野でカリキュラムを編成する。

「専門科目」では、全学科共通の「SD（Self-Development）プログラム」の中に、SA（student-assistant）を活用した少人数のクラス運営によるゼミ科目として「S. D.（自己啓発Seminar）」で始まる導入教育から、「基礎ゼミ」、「専門ゼミ」を配置するとともに、「キャリアデザイン」、「インターンシップ」を配置するなど、キャリア形成支援、就職までの一貫した流れを、「個性の伸展」を具現化するツールとして位置づけるものとする。

また、学科別の専門分野に係わる授業科目が、それぞれの学科の特色を生かせるよう豊富な専門科目及び関連科目を共にバランスよく年次ごとに編成する。

さらに、IT 関連科目として、「情報リテラシー基礎」及び「情報リテラシー応用」を全学科共通の必修科目とし、今日の情報化社会への適切な対応ができるよう充実を図る。

〔経済学科〕

経済学科では、経済理論、経済政策、経済組織などの論理的思考を養い、産業界はもとより経済と関わる他分野にも能力を発揮できる人材を育成するため、1年次ではそれぞれの基礎を学び、2年次からは進路選択や体系的な学修計画立案の一助とするため、「アジア経済コース」、「日本経済コース」、「地域経済コース」を設け、コースに応じた専門的教養を身に付けられるようカリキュラムを編成する。

また、中学校「社会」、高等学校「地理歴史」及び「公民」の教職課程認可を受けているため、効率的、効果的な履修可能なカリキュラム編成に努める。

〔商学科〕

商学科では、商取引に関わる幅広い専門分野を学び、物事を多面的に理解し、総合的に判断・対処できる実践的スキルを兼ね備えたビジネス・スペシャリストを育成するため、1年次ではそれぞれの基礎を学び、2年次からは進路選択や体系的な学修計画立案の一助とするため、「流通・マーケティングコース」、「会計・財務コース」、「国際ビジネスコース」、「ホテル・観光ビジネスコース」、「エアラインマネジメントコース」を設け、コースに応じた専門的教養を身に付けられるようカリキュラムを編成する。

また、高等学校「商業」の教職課程認可を受けているため、効率的、効果的な履修可能なカリキュラム編成に努める。

〔経営法学科〕

ビジネス領域の経営学、商学、情報処理などの科目及び企業経営に関連した法律科目をバランスよく学修し、経営実務に対応できるリーガルマインドを備えた人材を育成するため、1年次ではそれぞれの基礎を学び、2年次からは進路選択や体系的な学修計画立案の一助とするため、「ビジネス法務コース」、「公務員コース」を設け、コースに応じた専門的教養を身に付けられるようカリキュラムを編成する。

また、高等学校「公民」の教職課程認可を受けているため、効率的、効果的な履修可能なカリキュラム編成に努める。

〔健康スポーツ経営学科〕

経済学を基礎として、経営学と保健体育学の知識・技術を学び、スポーツ経営分野におけ

る独自性、専門性を兼ね備えたリーダーを育成するため、1年次ではそれぞれの基礎を学び、2年次からは進路選択や体系的な学修計画立案の一助とするため、「スポーツマネジメントコース」を設け、「トレーニング科学」、「スポーツ指導論」、「スポーツ栄養学」など、スポーツに関連する実践的知識が修得できるカリキュラムを編成する。

また、所定の科目履修により「スポーツリーダー」の取得及び通信大学等との連携により中学校及び高等学校「保健体育」の教員免許取得が可能となるよう効率的、効果的なカリキュラムを編成する。

「経営学部」

経営学部では、「個性の伸展による人生練磨」という建学の精神に基づいて、経営学に関わる専門の学芸を教授し、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培うとともに、豊かな人間性を涵養し、柔軟性のある人材を育成することを目的に、「基礎科目」と「専門科目」の二つを教育課程編成方針の大きな柱とし、学科の教育目標に応じたカリキュラムを編成する。

「基礎科目」については、経済学部と同様に、豊かな人間性を育む人文科学系、社会科学系、自然科学系、保健体育系及び国際的なコミュニケーション能力を高める語学系の5分野でカリキュラムを編成する。

特に留学生に対する日本語能力向上を図るためのカリキュラムの充実に努めるものとする。

「専門科目」では、経済学部と同様に、「SD (Self-Development) プログラム」の中に、SA (student-assistant) を活用した少人数のクラス運営によるゼミ科目として「S. D. (自己啓発) Seminar」で始まる導入教育から、「基礎ゼミ」、「専門ゼミ」を配置するとともに、「キャリアデザイン」、「インターンシップ」を配置するなど、キャリア形成支援、就職までの一貫した流れを、「個性の伸展」を具現化するツールとして位置づけるものとする。

また、専門分野に係る授業科目が、学部の特色を生かせるよう豊富な専門科目及び関連科目を共にバランスよく年次ごとに編成する。

さらに、IT 関連科目として、「情報リテラシー基礎」及び「情報リテラシー応用」を必修科目とし、今日の情報化社会に適切な対応ができるよう充実に努める。

〔経営学科〕

経営学科では、経営学、経営管理、経営組織を中心に、現代企業の合理的運営に関する理論研究と実務活動を有機的に学修し、実践的な経営スキルを身に付け、変化の激しい時代をたくましく生き抜く企業人を育成するため、「商業系プログラム」、「社会系プログラム」、「経営系プログラム」を設置するとともに、1年次ではそれぞれの基礎を学び、2年次からは進路選択や体系的な学修計画立案の一助とするため、「経営系プログラム」に「総合経営コース」、「IT ビジネスコース」、「起業家コース」、「ファッションビジネスコース」、「芸能マネジメントコース」、「経営日本語コース」、「経営英語コース」、「フードマネジメントコース」を設け、コースに応じた専門的教養を身に付け、社会に適応する力を獲得するカリキュラムを編成する。

また、高等学校「商業」に加え渋谷キャンパスでは「地理歴史」、「公民」、中学校「社会科」の教職課程認可を受けているため、効率的、効果的な履修可能なカリキュラム編成に努める。

日本経済大学アドミッションポリシー

「経済学部及び経営学部共通」

建学の精神「個性の伸展による人生練磨」にのっとり、世界が求めるグローバル人材を輩出するため、深く経済・経営に関する学問を教授研究するとともに、体験型語学教育・情報リテラシー教育・コミュニケーション能力向上教育によるキャリア形成を重視した個別指導を実践する。

その目的を達成する多文化環境構築のため、本学は世界各国・地域から多様かつ豊かな個性を持ち、向上心とチャレンジ精神旺盛な学生を積極的に受け入れる。

求める学生像は次の通りです。

- ・自分らしい個性の確立をめざし、自己の実現に向けて専門職をめざす人
- ・国際的経済・経営分野に強い関心を持つ人
- ・将来グローバルなビジネス分野で活躍できる知識と語学力を身につけたい人
- ・ベンチャービジネス起業をめざす人
- ・家業の後継ならびに事業の継続・発展をめざす人
- ・日本文化と日本的ビジネスに強い興味を持つ人

以上